

G20イタリア保健大臣宣言

概要

G20の優先課題として、「健康危機からの健康的で持続可能な回復」「強靱なワンヘルス(アプローチ)の構築」「協調的な連携対応」「入手可能なワクチン、診断薬、治療薬」の4点が挙げられている。

□ 健康危機からの健康的で持続可能な回復

- ・将来の健康危機を予防し、早期発見し、そして対応するために、世界がより良い備えを確保するよう、健康に関連するSDGsの進展を加速させることを決意。
- ・健康に関連するSDGsの達成に向けてコミットすること、特にUHCを通して全ての人の健康を促進させることを確認。
- ・本年12月に開催される東京栄養サミットを歓迎し、非感染性疾患の予防とコントロールに取り組み、低栄養と過栄養、どちらの栄養不良も終わらせるための努力を継続。
- ・健康に関連するSDGsの進展においてWHOのリーダーシップが非常に重要であること、そして透明性のある、持続可能な資金調達や国際保健の枠組みの必要性について認識。

□ 強靱なワンヘルス(アプローチ)の構築

- ・長期的な投資に通じる政治的コミットメントと共に、人だけでなく、動物、環境も同じように健康であるために、これらの衛生管理に関わる人々がそれぞれの分野を超え、連携して取り組む、ワンヘルスアプローチを築く必要性を強調。
- ・結核は薬剤耐性関連死の3分の1を占める可能性があり、結核治療・研究のための持続可能で確固たる資源確保のため、引き続きG20や、結核・薬剤耐性・UHCそれぞれの国連ハイレベル会合でのコミットを踏襲する必要性を確認。

□ 協調的な連携対応

- ・新型コロナウイルス感染症の甚大な被害により、十分な量の修練された医療人材や地域の医療サービスを確保し、投資することの重要性を強調。
- ・COVID-19パンデミックにより、プライマリーケアや定期予防接種といったCOVID-19以外の健康サービスも大きな被害を受けており、そうしたサービス維持には健康危機に耐えうる医療保健システムの機能強化が必要であると強調。

□ 入手可能なワクチン、診断薬、治療薬

- ・資金調達危機の回避や必須医療サービスへのアクセス、全ての人における安全かつ効果的で質の高い必須の医薬品やワクチンへのアクセスの保護を含めた、UHCの達成のために引き続き尽力することを再度確認。
- ・日本とGaviの共催で開催されたCOVAXワクチン・サミットの成果や、ワクチンの国際的な共有や生産開発の支援へのコミットを歓迎。